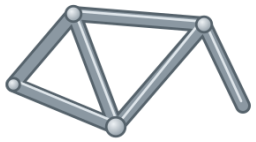
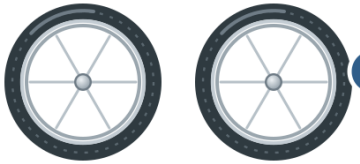
1つの製品がつなぐ世界（国際分業）

身の回りの製品は、いくつの国や地域とつながってつくられているか

架空の自転車を部品に分けると



4 フレーム

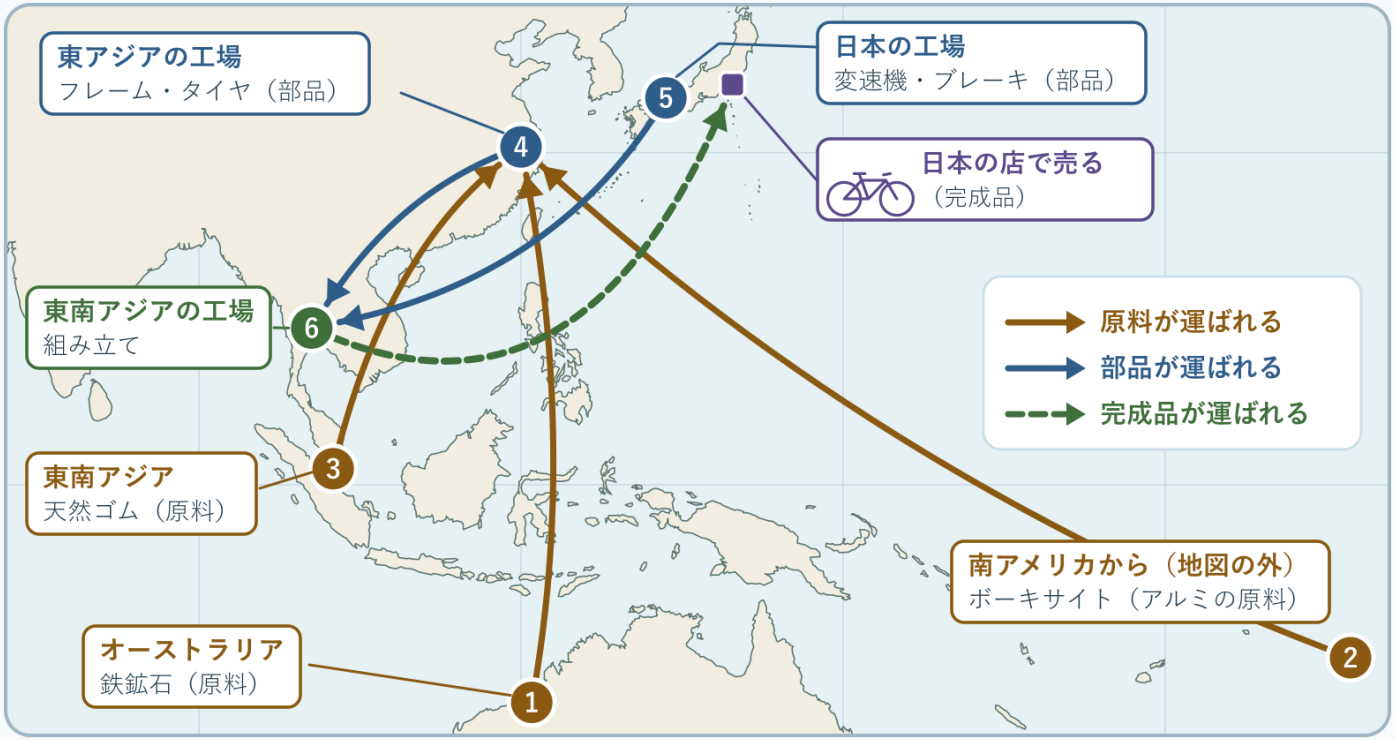


4 タイヤ



5 変速機・ブレーキ

フレームは①②、タイヤは③の原料から。
⑥で組み立てて、完成品にする。



その地域でつくる理由（例）

1 2 3	原料がとれる	鉄鉱石・ボーキサイト・ゴム
4 5	技術や設備がある	細かい部品・大きな工場
6	費用をおさえられる	人件費や土地の費用など

1か所が止まると（相互依存）

⑤の工場が災害で止まる → ブレーキが届かず、⑥で組み立てられない → 日本の店に自転車が届かない ✕

国どうしが、原料・部品・製品をとおして互いにたよりあう（相互依存）。

1つの製品が、いくつもの国や地域とつながってできている。

※ 地域と部品の組み合わせは架空の例で、実際の生産地を示すものではない。矢印は流れの模式。